

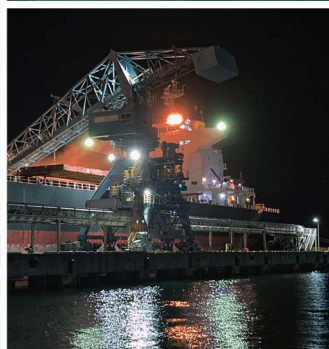
志布志の地から 食の安全を守る



志布志サイロ株式会社

志布志の地から 食の安全を守る

SHIBUSHI SILO



志布志サイロ株式会社

Shibushi Silo Co., Ltd.

鹿児島県は日本最大級の畜産県であり、志布志地区は日本有数の飼料団地となっています。弊社は志布志港に面した若浜地区に昭和60年(1985年)に設立され、昭和62年(1987年)の稼働以来、弊社後背地に展開する飼料工場4社5工場と共に一大飼料コンビナートを形成・発展し、現在に至っております。

同飼料工場4社の、九州昭和産業(株)、日本農産工業(株)、㈱I・フィード、志布志飼料(株)は、弊社株主である昭和産業(株)、三菱商事(株)、伊藤忠商事(株)(弊社の直接株主は同社子会社のI・サイロホールディングス(株))、三井物産(株)夫々の飼料工場として、主に大隅半島全域や宮崎県南部の畜産農家向けに配合飼料を安定的に製造、供給しております。

弊社は大型船舶が接岸できるバースと大型荷役機械設備、収容力131,600トンのサイロを有し、飼料原料(メイズ・マイロ等)を荷揚げし、各工場へ直結するコンベアーで効率良く供給し、穀物サイロとしての責任を果たしております。

志布志サイロの役割

「サイロ」とは

弊社の社名にもある「サイロ」とは、穀物や工業原料などを長期間保存するための設備を指します。

弊社では飼料用の主にとうもろこしやマイロを取り扱っており、その総収容能力は131,600トン(とうもろこしベース)ほどです。

志布志サイロの位置づけ

弊社は、海外から運ばれてきた飼料原料となる穀物の保管から工場・需要家様への供給を担っています。

穀物を積んでいる船が弊社に到着したら、アンローダーなどの重機で荷揚げし、弊社保有のサイロへ保管されます。

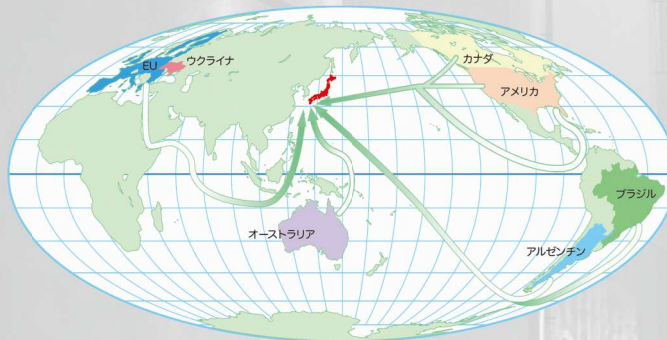
サイロに入庫された穀物は、徹底した品質管理を行い、ベルトコンベアやトラック、内航船などで出庫されます。

徹底した品質管理

入庫時の品質確認に始まり、サイロで保管中は穀物の温度、結露の有無など穀物の状況を監視します。

供給元と取扱量

- 飼料原料ベース
 - ・弊社取扱い 1,238千トン(トランシップ等含む)
- 配合飼料生産量ベース
 - ・志布志地区 2,746千トン
内、弊社関係の配合飼料工場 4 社にて55%を生産
 - ・鹿児島県 4,343千トン
 - ・生産量は鹿児島県が全国で第 1 位
(全国の生産量 24,055千トン) ※令和 4 年度





志布志サイロの経営理念

穀物の保管・物流を通じ、
豊かな社会生活の発展に貢献する

志布志サイロの経営方針

- ・ 穀物の安定供給と機械設備の安全操業を実現することで、飼料畜産業の発展に貢献する
- ・ 社員の創造性を高め、不断の挑戦を通じ、夢を実現する活気ある企業を目指す
- ・ 高い倫理観と地域社会への貢献を通じ、社員が志と誇りを持って働く企業を目指す

志布志港について

志布志港は、大隅半島に位置して、志布志湾の奥深くに抱かれて周辺に白砂青松を残し、沖合には特別天然記念物に指定されている亜熱帯性植物群落を持つ枇榔島(びろうじま)を望む風光明媚な良港です。その歴史は古く、平安時代に開かれた広大な荘園島津荘の唯一の水門(港)として繁栄し海上交易が盛んになった江戸時代には「志布志千軒の町」と呼ばれる程の賑わいでした。現在では南九州地域における国際物流拠点として発展しています。



SHIBUSHI SILO

SHIBUSHI SILO

会社概要

社 名	志布志サイロ株式会社
設 立	1985年(昭和60年) 1月
操 業	1987年(昭和62年) 7月
資 本 金	12億円
敷 地 面 積	22,018.620平方メートル
所 在 地	鹿児島県志布志市志布志町志布志字若浜3313番地
株 主	昭和産業株式会社 三菱商事株式会社 イーサイロホールディングス株式会社 (伊藤忠商事株式会社の完全子会社) 三井物産株式会社
事 業 内 容	倉庫業・港湾運送事業・通関業・その他
取 扱 品 目	トウモロコシ・マイロ・大麦・小麦・その他
主要得意先	九州昭和産業株式会社 日本農産工業株式会社 株式会社I・フィード 志布志飼料株式会社

会社沿革

1985年 1月	会社設立	資本金12億円
1987年 7月	港湾荷役設備及び第一次サイロ(5万トン)完成	操業開始
1988年10月	第二次サイロ(5万トン)完成	
1990年 9月	トラック出荷設備(200トンサイロ×4基)完成	
2001年 4月	サイロ搬入量累計1000万トン達成	
2001年 5月	サイロ搬出量累計1000万トン達成	
2001年11月	第三次サイロ(3万トン)完成	
2002年 2月	常用自家発電設備(996kw×2基)完成	
2010年 9月	新事務所完成	
2010年12月	新サイロ運転システム導入	
2021年12月	サイロ出庫船積設備完成	

設備概要

岸壁設備	ドルフィン栈橋	全長200m 通常水深—13m
	接岸可能本船	D/W 65,000トン LOA230m
	内水路・内航船	D/W 3,000トン 通常水深—8m
荷役設備	H.L.SKT アンローダー	荷役能力600トン/時×2基 トランシップ設備・ジブクレーン付
搬入設備	ベルトコンベアー	600トン/時×2系列
保管設備	鋼製円形サイロ (105本)	総収容力131,600トン(トウモロコシベース) (1,500トン×76本、1,400トン×7本、 700トン×6本、400トン×2本、 200トン×14本)
搬出設備	工場直送コンベアー	200トン/時×4系列
	トラック出荷設備	200トン/時×2系列・200トンサイロ×4本 (第一バラ出荷設備) 200トン/時×1系列(第二バラ出荷設備)
	サイロ出庫船積設備	400トン/時×1系列
	その他	常用自家発電設備 996kw×2基

志布志サイロの

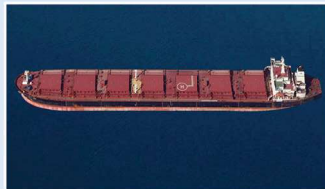
飼料原料(穀物)の 輸入から食卓まで

飼料原料の穀物を載せた貨物船が弊社の岸壁へ到着し、弊社保有のサイロへ保管後、出荷され、家庭の食卓に届くまでの一連の流れをご紹介します。

1～3は裏面「設備の概要」図内の番号に対応しています。



海外供給元



輸送

商社が買付けた海外の穀物が輸送される(輸入)



1 荷揚げ作業

QRコードを読み取ると荷揚げの動画を見られます



2 計量・保管

弊社の栈橋に接岸した貨物船から穀物を荷揚げしてサイロで保管



3 飼料工場4社5工場 へのコンベア出荷



3 船積設備



3 トラック出荷



飼料工場4社5工場にて 配合飼料を生産

弊社から飼料製造工場へ出荷された穀物が、栄養価の高い配合飼料となる



畜産農場

畜産農場は配合飼料などで家畜を肥育し出荷する



食肉などに加工

家畜が食肉に加工される

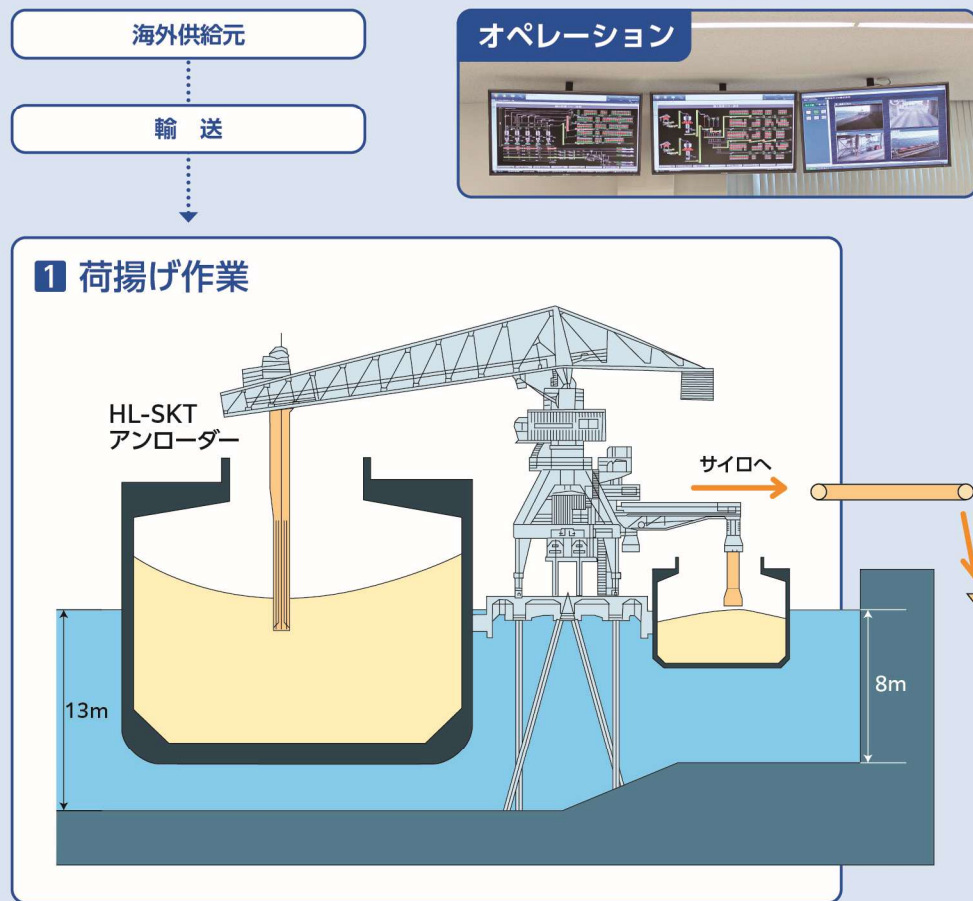


食卓

スーパーなどの小売店に届けられてご家庭の食卓へ

志布志サイロの 設備の概要

■1～3は表面「飼料原料(穀物)の輸入から食卓まで」図内の番号に対応しています。



アンローダー

貨物船から飼料原料を荷揚げする専用の機械式アンローダー2機を保有しております。1時間あたり最大600トンの荷揚げ能力があります。サイロへの搬入の他、内航船への積み込み(トランシップ)も可能です。

サイロ

収容能力230トンから1,520トンまで大小のサイロが全部で105本あります。最大のものは高さ40m、直径8.6mあります。サイロの総収容能力は、131,600トン(トウモロコシベース)です。

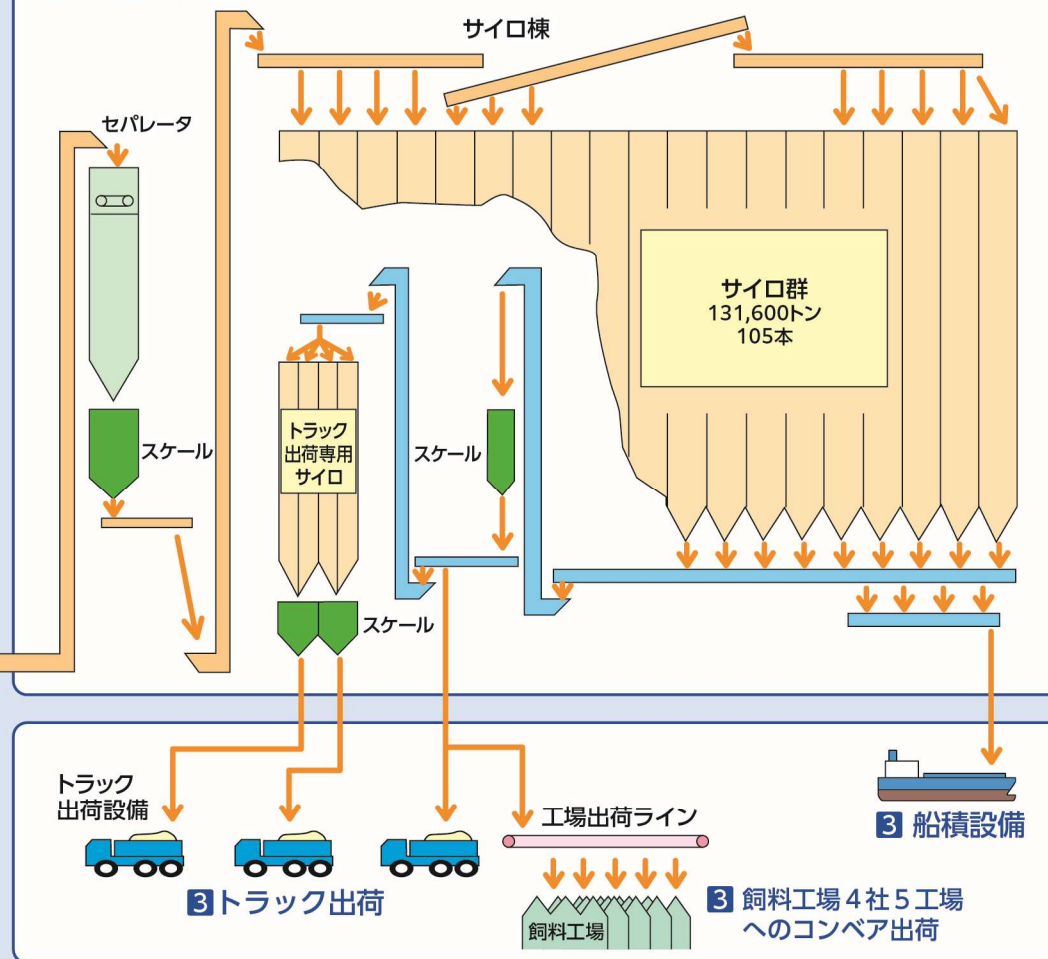
サイロオペレーション

サイロ運転システム、在庫管理システムの採用により円滑なオペレーションを行っています。

自家発電設備

出力996kwの発電機2基を備えています。

2 計量・保管



トラック出荷設備

1時間あたり最大200トンの積み込み能力を持つ設備が3系統あります。無人受付システムを採用しています。

船積設備

1時間あたり最大400トンの積み込み能力があります。

ベルトコンベア

近隣の飼料製造工場と専用コンベアで連結しており、原料を迅速に直送しております。1時間あたり最大200トンの搬送能力があります。

飼料工場4社5工場にて配合飼料を生産

畜産農場

食肉などに加工

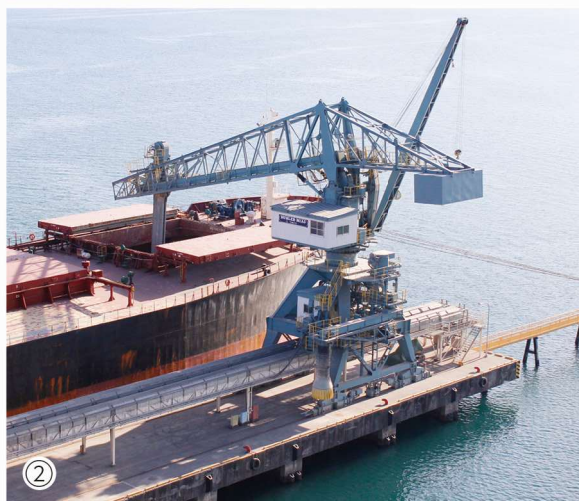
食卓



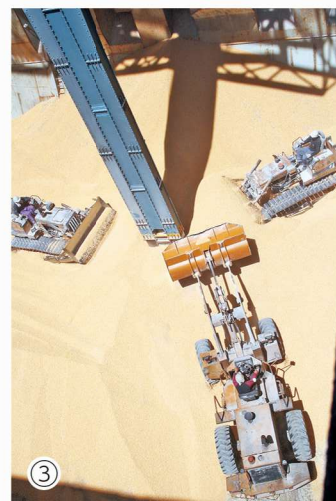
①

荷揚げ 作業

- ①パナマックス型などの大型外航船により輸送
- ②最大で600トン/時の荷揚げ能力を有するアンローダーを2基保有しています。
- ③サイロへの搬入と並行して、内航船への積み込みもできます(トランシップ)。



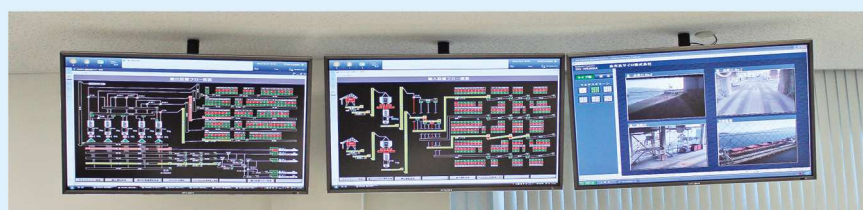
②



③

オペレーション

コンピューターシステムにより、荷揚げ作業、計量・保管、コンベア出荷・トラック出荷・内航船積みの運転管理、在庫管理及び品質管理が適切に行われます。



計量・保管

鋼鉄製の円形サイロビンは総計105本有ります。その内7割のサイロビンは高さ40m・直径8.6mと大型で、約1500トン/1本の飼料原料を保管する容量を有しております。
アンローダーで荷揚げされた原料はサイロ棟の中に入ると、セパレーターにより、異物除去が行われます。その後、原料種類・産地・船毎に分別、計量後、サイロビンにて保管されます。



トラック出荷



トラック出荷は、タブレット端末による無人受付です。

ダストが飛散せず、フード無しで作業性の良いローダーを採用しています。1系列200トン/時の積込み能力があります。



コンベア出荷



九州昭和産業(株)、日本農産工業(株)、(株)I・フィード、志布志飼料(株)の4社5工場向け専用コンベアにより飼料原料を迅速かつ確実に直送しております。

内航船積み

サイロより直接搬送する船積設備。
400トン/時の積み込み能力があります。



弊社からベルトコンベアにて直結し、飼料原料を供給させて頂いております飼料工場4社5工場をご紹介します。今後も弊社は同工場向けを中心に、共に発展、また貢献すべく、尽力したいと存じます。



九州昭和産業(株)志布志工場

「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」ことを企業理念とする昭和産業(株)グループの下、同社は「九州のアグリビジネスに貢献」を独自理念に、飼料の製造販売、養豚農場の経営等、展開されております。同工場は主要工場として1987年に開設されました。



日本農産工業(株)志布志工場

1987年に同工場は開設され、現在、2012年の分工場開設と併せ、同社飼料工場の中で最大規模となります。2009年に三菱商事(株)の完全子会社となり、同グループの一角として「いのちの営みを通じて、人々の健康と幸せに貢献します」をミッションに事業を展開されております。



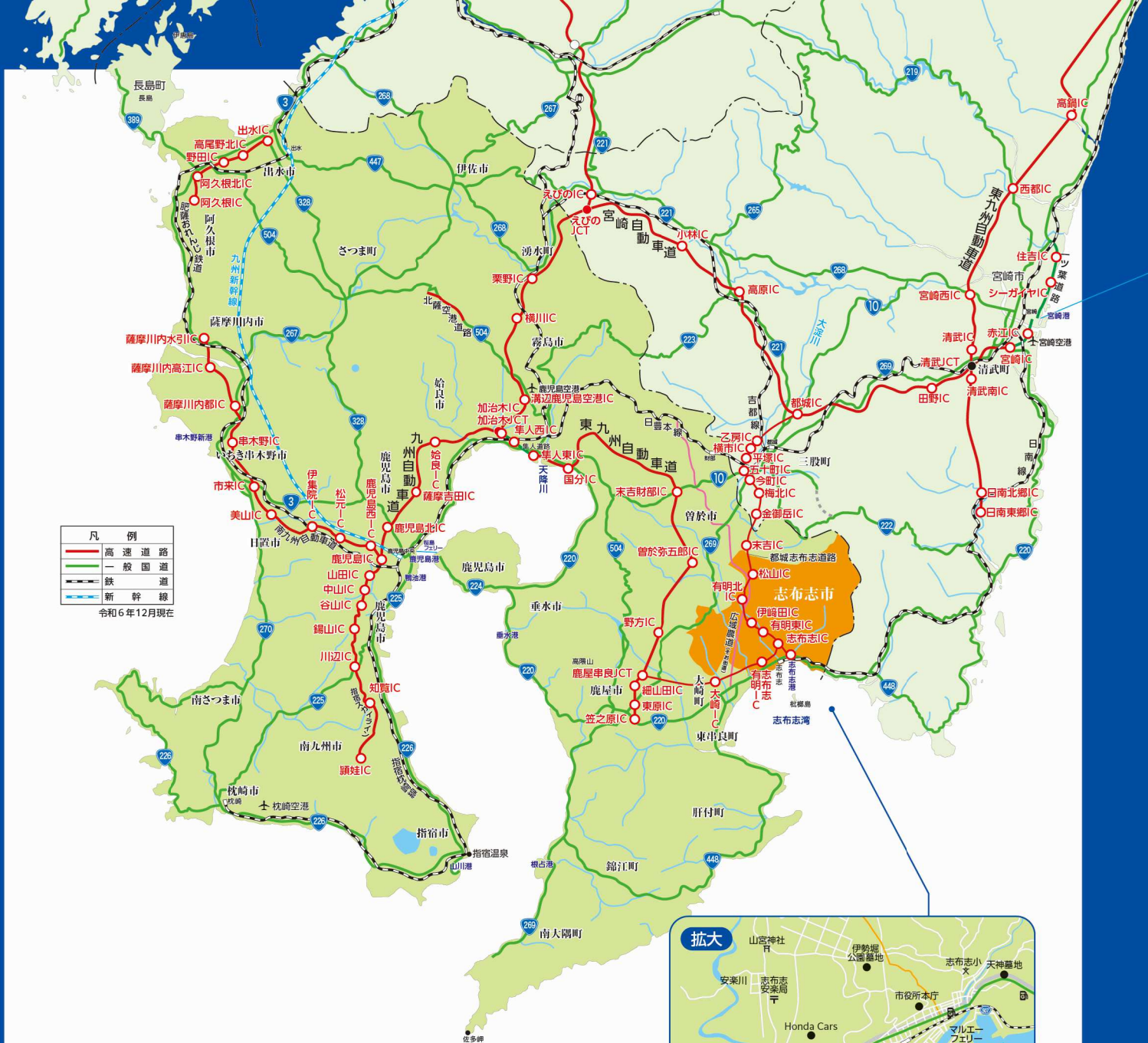
(株)I・フィード志布志工場

1987年南九飼料として操業を開始し、2021年8月より伊藤忠飼料完全子会社の“(株)I・フィード”として操業されています。「特性ある仕事をして社会に貢献する」を実践し、安全・安心で高品質の飼料を生産されております。



志布志飼料(株)志布志工場

同社は1985年に、協同飼料(株)、日本配合飼料(株)、林兼産業(株)の3社が配合飼料製造を目的に、志布志市に本社を置き設立されました。「より優れた品質の配合飼料を安全確実に畜産農家にお届けする」ことをモットーに事業を展開されております。



志布志サイロ株式会社

「志布志の地から食の安全を守る」

〒899-7103 鹿児島県志布志市志布志町志布志字若浜3313番地
 TEL 099 (473) 0316 FAX 099 (473) 0336
 WebSite <https://www.sbss.co.jp>



WebSite



志布志サイロ株式会社

鹿児島県志布志市志布志町志布志字若浜 3313 番地
TEL 099-473-0316 FAX 099-473-0336

ホームページ <https://www.sbss.co.jp>

